

令和3年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

日 本 史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の資料A～Fについて、後の(1)～(7)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A	
資料B	「好太王碑文」
資料C	「柳生の徳政碑文」
資料D	「万国津梁之鐘銘文」
資料E	
資料F	「多胡碑銘」

- (1) 空欄(1)に当てはまる元号を答えよ。
- (2) 下線部(a)について、百残・新羅はもともとどこの国に服属していたか、答えよ。
- (3) 下線部(b)は、「日本書紀」にある大泊瀬幼武と考えられている。これは何天皇か、答えよ。
- (4) 資料Bの他に資料を一つ使って、当時のヤマト政権の勢力範囲について生徒に理解させたい。
- ① あなたが提示したい資料の名称を一つ挙げよ。
 - ② 理解させたい内容について、簡潔に説明せよ。
- (5) 資料Cについて、どのような内容が書かれているか。簡潔に説明せよ。
- (6) 資料Dについて、以下の問いに答えよ。
- ① 資料Dは、ある城の正殿に架けられていた鐘に記されたものである。この城の名称を答えよ。
 - ② 資料Dをもとに、資料Eを黒板に図示し、中世における「大明」、「日域」、「琉球」及び「南海諸島」の交易関係の特徴を生徒に理解させたい。図の空欄 a ～ c に当てまる語句を、以下から選べ。また、この図から読み取れる琉球の貿易の形態について簡潔に説明せよ。
「蘇木」 「刀剣」 「銅銭」
- (7) 資料Fは、古代の群馬県の様子を伝える「上野三碑」の一つである。この資料を授業で用いて古代の行政のしくみについての関心を高めたい。あなたなら、どのようなことに着目させるか。簡潔に説明せよ。

- 2 次の資料A・Bについて、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

「本朝文粹」

資料B

(『国史大辞典』および東京大学史料編纂所データベースより作成)

- (1) 下線部(a)について、現存する風土記を旧国名で一つ答えよ。
- (2) 下線部(b)に関して、663年に起こった戦いの名称を答えよ。
- (3) 下線部(c)の人物とともに、聖武天皇に信任されて活躍した僧を答えよ。
- (4) 下線部(d)および(e)の時代には、格式が編纂された。格式とは何か、簡潔に説明せよ。
- (5) 資料Aについて、以下の問いに答えよ。
 - ① この資料は三善清行から誰に対して提出されたものか、答えよ。
 - ② この資料から、地方のどのような様子が読み取れるか。簡潔に説明せよ。
- (6) 下線部(f)に関して、位階のしくみを生徒に理解させるため、資料Bの表を示したところ、生徒から「一難宝郎は無位からの昇進なのに、なぜ大伴家持のように高い位から昇進が始まる者がいるのか」という質問を受けた。あなたはどのように説明するか。簡潔に答えよ。

- 3 次の資料A～Cについて、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A	
	「奥の細道」
資料B	
	「建武式目」
資料C	
	「御文」

- (1) 資料Aについて、以下の問いに答えよ。
- ① 下線部(a)について、三代とは何氏のことを指すか答えよ。
 - ② 下線部(b)について、ここで示している「光堂」とは何か、その名称を答えよ。
 - ③ 下線部(b)の「光堂」との関わりから、院政期の浄土教の思想の広がりを生徒に考察させたい。この時期に広がった背景について、簡潔に説明せよ。
- (2) 資料Bについて、以下の問いに答えよ。
- ① 下線部(c)について、具体的には誰のことか、人物名を答えよ。
 - ② 下線部(d)について、このとき幕府に対抗して敗北し、隠岐に流されたのは誰か、人物名を答えよ。
- (3) 資料Cによって教えが広まった結果、寺院や道場を中心として戦国期に形成された町を何と呼ぶか、答えよ。

- 4 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成30年告示)の第2節地理歴史 第2款の第4日本史探究の一部である。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

1 目標

社会的事象の歴史的な(1)を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 内容

B 中世の日本と世界

(1) 中世への転換と歴史的環境

諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) (a) 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) (b) 時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現すること。

- (1) 空欄(1)に当てはまる語を答えよ。
- (2) 下線部(a)のような知識を身に付けさせるために、あなたならどのような問いを設定して授業をするか。特定の一単位時間の授業を想定して、「時代がなぜ変わったか」というテーマで生徒が考察できるような問いを一つ考え、答えよ。
- (3) 下線部(b)のような思考力、判断力、表現力を身に付けさせるために、あなたならどのような活動を取り入れた授業を行うか。生徒が問いを表現することに着目して、具体的な活動について説明せよ。

- 5 次の資料A～Eについて、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A	
	「松浦家文書」
資料B	
	「長崎実録大成」
資料C	
	「御触書寛保集成」
資料D	
	「御触書天保集成」
資料E	
	「御触書天保集成」

- (1) 資料Aの法令を発した人物名を答えよ。
- (2) 資料Bを授業で使用して、朱印船の渡航と帰国の時期、及び方法について生徒に考察させたい。行きは冬に長崎から出港して、目的地までたどり着いている。では目的地からどのように帰国したか、季節と地理的条件に着目して、簡潔に説明せよ。
- (3) 資料Cの法令が出された背景と目的について、資料の内容を参考にして簡潔に説明せよ。
- (4) 下線部(a)は蔵米取の旗本・御家人の代理として蔵米の受取・売却を行う商人のことである。この商人を何というか、答えよ。
- (5) 下線部(b)の事件名を答えよ。
- (6) 資料Eの法令により、外国船に対する幕府の方針は転換した。どのように転換したか、簡潔に説明せよ。

6 内閣について書かれた、次のA～Dの文について、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

A この内閣は、護憲三派連立内閣である。普通選挙法及び(a) 治安維持法の制定、貴族院の改革、日ソ国交樹立を実現した。

B この内閣は、「基本国策要綱」を決定して、新体制運動を促進した。国内では政党を解散して、(ア)を組織した。日独伊三国同盟及び日ソ中立条約を締結した。

C この内閣は、(b) 大津事件を処理した。第二議会で議会を解散し、選挙干渉を行ったが、民党に敗北した。第三議会に臨んだが、軍事予算を否決されて総辞職した。

D この内閣は、金融恐慌を処理した。三・一五事件などの社会主義を弾圧し、積極外交の立場から山東出兵を行った。(イ)の対応をめぐって退陣した。

資料 1

「官報」

資料 2

「法令全書」

資料 3

資料 4

「日本外交主要文書・年表」

- (1) A～Dで説明されている内閣の総理大臣の名前をそれぞれ答えよ。
- (2) A～Dの内閣を、古いものから順に並べ替えよ。
- (3) 空欄(ア)・(イ)に当てはまる語をそれぞれ答えよ。
- (4) 下線部(a)について、資料1の空欄□に当てはまる語を答えよ。
- (5) 下線部(b)の事件を裁いた大審院長児島惟謙は政府の圧力に屈せず司法権の独立を守ったといわれている。どのような判決を下したことからそのようにいわれるのか、資料2を参考にして、政府(検察)側及び大審院の見解をそれぞれ踏まえて、簡潔に説明せよ。
- (6) 資料3・4について、以下の問いに答えよ。
 - ① 資料3・4に関わった内閣の総理大臣の名前を答えよ。
 - ② この内閣について、A～Dと同じように「この内閣は、…」という形式の文をつくりたい。資料3と4から読み取れる出来事に、もう一つ加えて、内閣の特徴がわかる文を答えよ。

- 7 資料A～Eについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

資料B

資料C

「帝国議会衆議院議事速記録」

資料D

資料E

「前橋市史」

- (1) 資料Aで説明されている人物は誰か、当てはまる人物を次から選び、記号で答えよ。
(ア) 尾崎紅葉 (イ) 斎藤茂吉 (ウ) 田山花袋 (エ) 萩原朔太郎
- (2) 資料Bは下線部(a)の年に、日本民俗学の確立に貢献した人物が著した作品である。この人物名を答えよ。
- (3) 資料Cは下線部(b)の年に行われた演説である。この演説を行った人物名を答えよ。
- (4) 資料Dは下線部(c)の年に起こった、ある出来事を記した日誌である。この出来事を答えよ。
- (5) 資料Eは下線部(d)の年に起こった海戦を伝える記事である。以下の問いに答えよ。
 - ① 資料Eの空欄 に当てはまる語を答えよ。
 - ② 資料Eを授業で用いて、世論の形成過程におけるマスメディアの影響について理解させたい。このねらいに則した学習を展開する上で、あなたは教師としてどのような問いを設定するか、簡潔に説明せよ。

8 次の資料A～Kについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

資料B

資料C

資料D

資料E 生糸生産量の推移

資料F 財政に占める国債額と軍事費

(「近現代日本経済史要覧」より作成)

(「大正昭和財界変動史より作成」)

資料G 工業生産額の推移

(「講座 日本歴史10」より作成)

資料H 対米為替相場(100円につき)

資料I 綿織物の輸出額

(資料H・Iはともに「近代日本経済史要覧」より作成)

資料J 朝日新聞(1955年10月14日)

資料K 朝日新聞(1955年11月15日)

- (1) 資料Aについて、以下の問いに答えよ。
 - ① この農具の名称を答えよ。
 - ② 資料Aによって農業生産力が向上した理由を考察させたい。以前の農具と比較して改良された点に触れて、簡潔に説明せよ。
- (2) 資料Bの絵画の作者は東京美術学校に西洋画科を設置し、白馬会を創立した。この作者の名前を答えよ。
- (3) 資料C～Eについて、以下の問いに答えよ。
 - ① 資料Eの空欄「ア」と「イ」に当てはまる製糸技術を資料CとDを参考にして答えよ。
 - ② 資料Eを授業で用いて、生糸生産量の推移の特徴を読み取らせたい。読み取らせたいことを、簡潔に説明せよ。
- (4) 資料F～Iを授業で用いて、高橋財政について生徒に理解させたい。高橋財政の特徴とその結果、日本の産業や経済にどのような変化をもたらしたかを、簡潔に説明せよ。
- (5) 資料JとKについて、以下の問いに答えよ。
 - ① 資料Jの空欄「ウ」に当てはまる政党名を答えよ。
 - ② この後、政治体制はどのように変化したか、議席構成を踏まえて簡潔に説明せよ。

科目	日本史 解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名	
----	----------	---------	------	--	----	--

(3年)

1

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

(4)	①		(5)	
	②			

(6)	①		a		b		c	
	②							

(7)	
-----	--

2

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

(4)		(5)	①	
			②	

(6)	
-----	--

3

(1)	①		②	
	③			

(2)	①		②		(3)	
-----	---	--	---	--	-----	--

4

(1)	
-----	--

(2)	
-----	--

(3)	
-----	--

科目	日本史 解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(3年)

5

(1)		(2)	
(3)			
(4)		(5)	
(6)			

6

(1)	A		B		C		D	
(2)	→ → →							
(3)	ア		イ		(4)			
(5)								
(6)	①		②	この内閣は、				

7

(1)		(2)		(3)	
(4)					
(5)	①		②		

8

(1)	①		②				
(2)							
(3)	①	ア		イ		②	
(4)							
(5)	①	ウ					
	②						

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	日本史 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏 名	(3年)
--------	----------	-------	------	--------	------

1	(1) 正長 (1点)	(2) 高句麗 (1点)	(3) 雄略天皇 (1点)
---	-------------	--------------	---------------

(4)	①	【解答例】 江田船山古墳出土の鉄刀銘 (1点)	(5)	【解答例】 神戸四力郷の郷民たちが、私徳政による負債破棄を宣言したこと。 (3点)
	②	【解答例】 ヤマト政権の勢力範囲が九州から東日本まで拡大したこと。 (3点)		

(6)	①	首里城 (1点)				
	②	a	銅銭 (1点)	b	刀剣 (1点)	c
【解答例】 他国から輸入した物品を別の国に輸出して利益を得る、中継貿易を行っていた。(3点)						

(7)	【解答例】 郡の再編による多胡郡の設置が記されており、古代群馬における郡の実態が分かることに着目させ、関心を高めたい。(3点)
-----	--

2	(1) 【解答例】 出雲国 (1点)	(2) 白村江の戦い (1点)	(3) 玄昉 (1点)
---	-----------------------	-----------------	-------------

(4)	【解答例】 格とは律令の補足・修正であり、式とは律令の施行細則のことである。(3点)	(5)	①	醍醐天皇 (1点)
			②	【解答例】 地方財政の窮乏や混乱ぶりが読み取れる。(3点)

(6)	【解答例】 蔭位の制により、五位以上の子、三位以上の子・孫は父や祖父の位階に応じた高い位階を与えられたため。(4点)
-----	---

3	(1)	①	奥州藤原氏 (1点)	②	中尊寺金色堂 (1点)
		③	【解答例】 末法思想の広まりによって信仰された浄土教が、聖や上人など民間の布教者によって各地の豪族たちに伝えられた。(4点)		

(2)	①	源頼朝 (1点)	②	後鳥羽上皇 (1点)	(3)	寺内町 (1点)
-----	---	----------	---	------------	-----	----------

4	(1)	見方・考え方 (1点)
---	-----	-------------

(2)	【解答例】 平氏政権は、なぜ海運や貿易に影響力をもつことができたのだろうか。(3点)
-----	---

(3)	【解答例】 複数の資料をもとに生徒が疑問を相互に発表し、それらの疑問を基に、教師が問いかけを行うような授業。(3点)
-----	---

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	日本史 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏 名	(3年)
--------	----------	-------	------	--------	------

5	(1) 豊臣秀吉 (1点)	(2) 夏に季節風を利用して帰国した。(2点)
(3)	【解答例】 増加する一方であった金公事(金銭貸借の訴訟)は、幕府は受け付けず、当事者どうして解決させて、訴訟事務の軽減をはかる目的。(3点)	

(4)	札差 (1点)	(5) フェートン号事件 (1点)
(6)	【解答例】 それまでの幕府は食料や薪水を求める外国船には、それらを給与したうえで立ち退かせるという方針をとっていたが、異国船打払令を出して沿岸に近づこうとする外国船は事情のいかんを問わず打ち払うように命じた。(3点)	

6	(1) A 加藤高明 (1点) B 近衛文麿 (1点) C 松方正義 (1点) D 田中義一 (1点)
---	---

(2)	C → A → D → B (1点)
-----	--------------------

(3)	ア 大政翼賛会 (1点) イ 張作霖爆殺事件 (1点) (満洲某重大事件)	(4) 私有財産 (1点)
-----	---------------------------------------	---------------

(5)	【解答例】 政府側はロシア皇太子を切りつけた犯人に日本の皇族に対する大逆罪を適用して死刑を要求したのに対して、大審院は法律どおり普通謀殺罪の未遂事件として無期徒刑の判決を下したから。(3点)	
-----	--	--

(6)	① 佐藤栄作 (1点)	② この内閣は、 【解答例】 3次にわたり組閣をした。1次内閣で日韓基本条約に調印、2次内閣で小笠原諸島の返還を実現、3次内閣で沖縄の祖国復帰を実現した。(3点)
-----	-------------	---

7	(1) 工 (1点)	(2) 柳田国男 (1点)	(3) 尾崎行雄 (1点)
---	------------	---------------	---------------

(4)	関東大震災 (1点)	② 【解答例】 事実と異なる大本営発表を検証せずにそのまま発表した新聞報道は、戦争に関する世論形成にどのような影響を与えたのだろうか。(3点)
-----	------------	--

(5)	① ミッドウェー (1点)	②
-----	---------------	---

8	(1) ① 備中鞆 (1点) ② 【解答例】 以前と比べて刃先が分かれて、深耕が容易となったから。(2点)
---	--

(2)	黒田清輝 (1点)	② 【解答例】 1894年には器械製糸の生産量が座繰製糸の生産量を上回った点を読み取らせたい。(長期にわたり座繰製糸と器械製糸が併存した点を読み取らせたい) (2点)
-----	-----------	--

(3)	① ア 器械製糸 (1点) イ 座繰製糸 (1点)	②
-----	---------------------------	---

(4)	【解答例】 蔵相高橋是清は赤字国債を発行して軍事費などの財政支出を増加させた。その結果産業界は活性化し、特に重化学工業が発達した。また、金輸出再禁止による円安を利用して、綿織物業をはじめ日本の輸出が大幅に増加した。(4点)	(5)	① ウ 社会党 (1点)	② 【解答例】 自民党は議席の約3分の2弱を占めて安定長期政権を維持し、社会党ら革新勢力は約3分の1の議席を確保する2党中心の政治体制(55年体制)が続いた。(3点)
-----	--	-----	--------------	--